

全国協議会 ニュース

2025年9月1日発行 第397号

発行所：特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会
〒101-0031 東京都千代田区東神田1-3-4KT ビル3階
TEL：03-5823-6360 FAX：03-5823-6365
発行責任者：梅田正造 題字：仲田順和
https://www.marrow.or.jp E-Mail:office@marrow.or.jp

全国協議会 2025 年度事業計画概要

全国骨髄バンク推進連絡協議会（以下、全国協議会）の第13期（2025年度通常総会終了後から2027年度通常総会終了時）役員（会長、副会長、理事長、副理事長、理事、監事）は、5月25日（日）に愛知医療センター名古屋第一病院で開催した「2025年度通常総会」で選任されました。

各理事、監事の出身都道府県は以下になりますが、多くの皆さんは全国協議会の他に各地でも活動しています。理事長：梅田正造（千葉）、副理事長：若木換（東京）、村上忠雄（神奈川）、北折健次郎（愛知）、浅野祐子（大阪）、山村詔一郎（奈良）、理事：齊藤千秋（北海道）、菅早苗（秋田）、館野守男（埼玉）、川下勉（石川）、笠原千夏子（長野）、鈴木敏生（愛知）、山口明大（徳島）、内藤真澄（福岡）、監事：笠原慶一（埼玉）、黒部光司（神奈川）。

全国協議会は今年、設立35周年を迎えました。ドナー登録者数（累計）は5月に100万人を達成しました。このような環境の中、2025年度事業計画ですが、以下の5つの活動の柱の下に具体的な方針を立てて実行してまいりますので、皆様方のご支援をよろしく

第13期理事、監事第190回理事会（初理事会）25.7.27



くお願いいたします。

（理事長 梅田正造）

1. ドナー登録推進と普及啓発活動

- (1) オンラインでのスワプ申し込みの試験的導入への協力
- (2) ボランティア団体とのコミュニケーションの強化
- (3) ドナー登録推進と普及啓発活動

2. 患者・家族の支援活動

- (1) 患者さんの救命とQOLの向上、移植後長期生存患者の心に寄り添う活動
- (2) 「白血病フリーダイヤル」
- (3) 患者支援基金
- (4) 関係学会参加・医療講演会・患者相談会
- (5) ハンドブック「白血病と言われたら」

3. ドナー支援活動

- (1) 「ドナー休暇制度」、「ドナー助成制度」の更なる普及
- (2) 「ドナーサポートダイヤル」活動の継続

4. 骨髄バンク及び医療制度の充実

- (1) 要望・請願活動
- (2) 調査・研究・セミナー事業、国際交流事業

5. 全国協議会の体制強化、財政改善の活動

- (1) 運動ネットワーク、会議体の強化
- (2) 全国協議会の組織強化・財政改善活動
- (3) 情報発信の充実
- (4) 体験談等活用ガイドラインの活用

都道府県骨髄バンク担当者会議 開催

8月5日（火）日本骨髄バンク主催の都道府県骨髄バンク担当者会議がWeb開催され、各自治体の担当者が参加しました。岡本真一郎理事長は、日頃の協力への感謝とともに、現状と課題、若年層ドナーの確保や応諾率の向上、コーディネート期間短縮が重要な課題であると講演されました。

移植医療対策推進室 島田志帆室長の挨拶に続き、同室の高波直樹係長の講演では、造血幹細胞移植の意義、自治体に対しては、法に定められた責務としてのドナー登録会や普及啓発への協力要請、若年層を増やすことが急務である中で「オンラインスワプ登録」導入の取り組みについて、などが語られました。

続いて日本骨髄バンク広報渉外部 水口詞代部長からは、若年層ドナー数

の増、応諾率向上に向けて自治体へ協力が求められたほか、学域での登録会開催で学生が登録説明員となり同じ目線で行うのは効果的、語りべ講演は校長会への依頼で開催が可能になる例もある、応諾率向上のためには仕事や学校を休むための環境整備が必要、ドナー休暇制度導入は社会貢献度をアピールすることにもなるので商工会などを通じて依頼を、制度があることで周囲の理解も得られやすくなる、学生に対しては教育上の配慮をとの通知が文部科学省から知事宛にも出されている、などの説明がありました。

スワプによるオンライン登録は、登録会会場での採取ではなくWeb上でキットを申し込み、自宅などでの確に採取をしてもらうため、献血に來ない

人に対してもリクルートの幅が広がるということです。令和8年度の本格導入に向け、10月1日（水）からのトライアル3開始を目指すということです。

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンク NOW

《MONTHLY JMDP(8月15日発行)より抜粋》

■日本骨髄バンクの現状(2025年7月末現在)

	6月	7月	現在数	累計数	
ドナー登録者数	2,748	2,766	564,633	1,006,589	
患者登録者数	197	218	1,728	71,772	
採取数	骨髄	54	60	—	27,270
	末梢血幹細胞	28	46	—	2,581
	合計	82	106	—	29,851

2023年4月から統計基準が移植件数から採取件数に変更

■7月の区分別ドナー登録者数

献血ルーム／656人、献血併行型集団登録会／2,071人、集団登録会／0人、その他／39人

■7月の年齢別ドナー登録者数(現在数)

10代 5,314人／20代 99,306人／30代 137,583人
40代 208,707人／50代 113,723人

■7月の20歳未満の登録者429人

注)数値は速報値のため訂正する場合があります。

キャンサーフォーラム 2025 参加報告



8月2日(土)・3日(日)の2日間、東京築地の国立がん研究センターで開催されたキャンサーフォーラム2025に、毎年参加している神奈川骨髄移植を考える会(以下、神奈川の会)からのお誘いがあり、骨髄バンクを支援する東京の会(以下、東京の会)として初めて参加しました。

キャンサーフォーラムは、毎年開催されている日本最大級のがんフォーラムで、血液がんをはじめ各種のがん治療の最新情報の講演のほか、患者の交流会や相談会、カウンセリングやヨガ体験など、さまざまなイベントが開催されています。

東京の会は神奈川の会の隣にブースを構え、東京の会のメンバー3名の手作りの品を並べて販売しました。お薬手帳のカバーやミニバッグ、コードフォルダー、ペンチャームなど、どれも素晴らしい作品で、参加者の目を引きました。

スタンプラリーでブースを訪れてくれた参加者や、通りがかりの参加者には、全国協議会のきち子、こうのとり

マリー、志村大輔の3基金のパンフとギフトオブライフ、ハローキティのティッシュを配布して、全国協議会と骨髄バンクをアピールしました。

また、東京の会のメンバーも各ブースを回り、名刺交換をして、お互いの活動を紹介し合い、今後の情報交換や連携を図るきっかけを作ることができました。5月のボランティアの集いでも感じましたが、患者支援活動の幅を広げていくためには、さまざまなNPO、ボランティア団体との連携を図っていくことが重要だとあらためて認識しました。

初日の2日には、神奈川の会の小石川知子さんの司会で急性白血病交流会、大谷貴子さんの司会で慢性白血病交流会が開催され、私は急性白血病の交流会に参加しました。闘病中の患者さんやご家族の方からの多種多様な悩みや質問に虎の門病院の内田直之先生が丁寧に答えてくださり、移植を受けた患者の方からも体験を交えたアドバイスがありました。

翌日3日の昼12時から、東京の会

の運営で「骨髄バンク交流会～就労について考えよう」を開催しました。全国協議会副理事長の若木換さんが司会、東京の会の会員でキャリアコンサルタントや両立支援コーディネーターの資格を持つ中村設子さんがファシリテーターを務めました。実際に治療と仕事の両立に苦労された患者の体験談や、企業で産業看護職や人事労務を担当している東京の会の会員からのアドバイスがあり、さらに参加者の方々からご自身の体験や思いが語られました。

血液がんに限らず、がんと診断された患者は治療のために退職してしまう方が多いのですが、治療後に再就職しようとしても、体力の問題や、企業側の受け入れ体制、病気への理解が不足しているなど、大きな壁にぶつかることが多々あります。辞めずに継続して働いたり、再就職したりしても周囲の同僚や上司との関係に悩んでいる方もおられます。

全国協議会では、こうした患者さんを支援するために、就労に関する個別相談窓口を開設することになり、現在準備が進められています。治療と仕事の両立は、2人に1人ががんになり、多くの方が生還する時代の中で、改善を図っていくべき喫緊の社会問題であり、東京の会としても、全国協議会と連携しながら患者支援活動の一環として取り組んでいきたいと考えています。

(骨髄バンクを支援する東京の会
代表 二見茂男)

熊本県における登録会について

～若年層ドナーさん獲得に向けて～

熊本県では、「骨髄バンクくまもと」の組織を立ち上げてから今年で8年目を迎えます。

説明員は現在20名ほどで、毎月15回前後の登録会に、1～2名が参加しています。長いスパンで捉えたドナーさんの獲得のためには、若年層の方の登録が重要です。そこで特に、県内の大学や各種専門学校などを中心にした活動に力を入れています。大学生や専門学校生の皆さんは、真剣に説明を聞いてくださり、登録に結びつくケースが多いと思います。また、体重不足等

の理由で献血が不可となった方にも声をかけて、バンク登録だけをお願いするケースもあります。その結果、会場や献血の状況にもよりますが、1回の登録会で10～20名の登録をお願いできています。

さらに若年層の方の献血者が多い街中の献血ルームや職場などの登録会も定期的の実施しています。また昨年度は、中学校1年生を対象とした道徳「命を大切にするとはい」の授業に参加しました。骨髄バンクの概要についての説明を行った後、ゲストティーチャーとし

てお招きしたドナー経験者から提供の様子を聴くなど、中学生が骨髄バンクについて学ぶ



機会となりました。この学習を終えた生徒たちが、将来、骨髄バンクの良き理解者となってくれたら嬉しいです。

まだまだ未熟な組織ではありますが、今後も日々の活動を大切にしていこうと思います。

(骨髄バンクくまもと 事務局 甲斐英子)

「大阪マラソン2026」みなさんもチャリティランナーに! サポーターに!

関西骨髄バンク推進協会（以下、関西協会）は2026年2月22日（日）に開催される「大阪マラソン2026」のチャリティ寄付先団体選ばれました!! みなさんも骨髄バンクのタスキをかけ大阪の街を駆け抜けるチャリティランナーとして、ランナーのサポーターとして大阪マラソンに参加してみませんか? もちろん、沿道でのランナーの応援も!!

関西協会では、家族や友人、活動に共感したサポーターなどから7万円以上の寄付金を集めることで大阪マラソンに出場できる「チャリティランナー」を募集しています。（応募は大阪マラソンのエントリーページから直接お願いしますね!）

実は、「大阪マラソン2025」ではチャリティランナーを集めるめどが立たず寄付先団体への応募を断念しました

が、気を取り直し今年は再度応募してなんとか寄付先団体に選んでいただけました。とはいえ、チャリティランナーに課された7万円の寄付を集めることのハードルは高く（ランナーが集める寄付が7万円に達しない場合は不足額をランナーご自身が寄付）、なかなかランナーに応募いただける人は集まっていません。チャリティランナーにエントリーしていただける方と応援してくれるサポーターを募集しています。

チャリティで集まった寄付金は関西協会の活動資金として、活用させていただきます。関西協会は毎年約500回以上の登録会を行い3,000人以上の方



にドナー登録をさせていただいています。登録会を実施するための説明員の養成や、若年層へのアピールのための勉強会や事務局業務など、活動の維持に必要な資金は若干の公的な補助金と寄付のみで賄われています。チャリティへのご協力をお待ちしています。

（NPO 法人 関西骨髄バンク推進協会
井上清孝）

チャリティランナー応募の詳細はこちら

https://www.osaka-marathon.com/2026/runner/entry/apply_c/
（受付締め切り：2025年10月20日（月）17:00）



学生主体のリレー・フォー・ライフを開催

リレー・フォー・ライフとは、地域全体でがん向き合い、がん患者さんやそのご家族を支え、がん征圧を目指すチャリティイベントです。1985年、アメリカの1人の医師が24時間走り続け、がん患者支援への寄付を募ったことが始まりとなったこのイベントは、現在、世界36カ国、日本では約50カ所で行われています。滋賀医科大学では、全国で唯一学生が主体となってイベントを企画・運営しており、本年で10年目の開催となります。

今年のイベントは10月11日（土）12:00～12日（日）12:00に滋賀医科大学にて行います。イベントでは、参加



者がたすきを繋いで夜通し歩くことで、がん患者さんは24時間がん向き合っているという思いを共有するリレーウォークを行います。また、夜にはがん患者さんへのメッセージを綴ったルミナリエに明かりを灯し、がんで亡くなった方を偲び、病と向き合っている方を励ますルミナリエセレモニーを開催します。加えて、がん相談やアロマセラピー、キッチンカーなどの多数のブース出店や、中庭のステージにて学内および学外の団体による楽器演奏や歌などのパフォーマンスを予定しています。さらに、イベント当日に無料の乳がん検診（事前予約制）を実施します。

がん患者の方はもちろん、そのご家族や支援者の方、あるいはがんになったことはないけれどイベントに興味がある方はぜひお越しいただければと思います。実行委員一同、皆様のご参加

をお待ちしております。

（リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025
滋賀医科大学 実行委員長 藤原りこ）

東京雪祭 SNOWBANK PAY IT FORWARD2025 が開催されます

一般社団法人 SNOWBANK は、「若者に献血・骨髄バンクを知って、行動してもらおうキッカケの場を作ること」として、今年もスノーボードを軸に音楽・アート・食をテーマにした子どもから大人まで楽しめる「東京雪祭」を東京・代々木公園イベント広場に開催します。

一人でも多くの患者さんが治療のスタートラインに立てる社会づくり。今年は15回目の記念開催! 東京雪祭に是非ご参加を! 献血は日本赤十字社のアプリ「ラブラッド」から予約できます。

雪主（患者支援活動費用のご支援者様）を通年募集中です。オリジナルグッズのリターンも用意されています。

■開催日：2025年11月8日（土）～9日（日）
■会場：代々木公園 B 地区イベント広場
■開場：9:30
■閉場：16:00
■料金：無料

雪主募集サイトへ GO !



日時：2025年10月11日（土）12:00～
10月12日（日）12:00 まで
〈24時間〉

会場：滋賀医科大学 中庭
（滋賀県大津市瀬田月輪町）

入場料：無料

※参加協力金として任意で、一般1,000円、学生500円のご寄付をお願いしています。高校生以下・がんサバイバーさんは無料です。

対象：どなたでも

申し込み 個人参加：申し込み不要

チーム参加・その他ご質問
詳しくはコチラ



各地のたより

各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

愛知

絵本作家とふれあう 【絵本フェス】にて広報活動

8月2日(土)、吹上ホール(名古屋市)にて行われた「第5回絵本フェス」に今年も参加、来場者にギフトオブライフ、ハローキティティッシュを配布、多くの方に骨髓バンクを知っていただく機会となりました。このイベントは日本最大級の絵本の祭典ということで、日本全国から絵本作家が集まり、大人向け・子ども向けの絵本の展示・販売が行われました。

今年は101名の作家さんが参加、来場者はなんと4,411名。絵本作家による読み聞かせやサイン会も行われ会場は笑顔でいっぱいでした。

昨年より、主催者様のご厚意でブースをご提供いただいています。お隣では愛知こどもホスピスプロジェクトの皆様も参加、今年も



レモネードスタンドを設置して病気と闘っている子どもたちを応援していました。絵本フェスということで当会のブースにも「春ちゃんは元気です」「いのちのあさがお」などを展示、絵本を手に取り真剣に読む子どもたちがいました。コウスケ君のあさがおの種を手にする子も…。幼いころからいのちについて考える機会となるととても大切な場だと感じました。「ドナー登録しています」「家族が治療中です」などの声も届きました。骨髓バンクを知っていただくだけでなくさまざまな出会いがあるイベントに参加し、活動が続けることの大切さを感じた一日でした。

(あいち骨髓バンクを支援する会 水谷久美)

千葉

柏市の 「愛の血液助け合い運動」に参加

7月6日(日)、JR柏駅東口ダブルデッキで開催された柏市「愛の血液助け合い運動」に柏市福祉政策課、ライオンズクラブ、高校生とともに参加しました。当日は朝から陽射しが強く暑い日となりましたがデッキを通行する方々にギフトオブライフとティッシュを配布しました。柏市健康医療部総務企画課の方にも協力いただきました。関係者の方からは水分補給や状況の確認の見回りなどいろいろお気遣いをいただきました。また、通行人の方からは、暑い中で活動することに対するねぎらいのお言葉を頂戴しました。

献血について数名から質問を受け

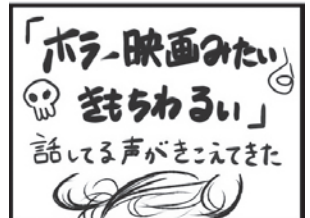


ましたが、残念ながら骨髓バンクについての質問はほとんどありませんでした。目に見えるような効果を期待できる場ではありませんが、地道な啓発活動として今後も続けたいと思います。

また、柏市の職員の方に、当会の活動を紹介しました。私の趣味がマラソンということもあり、柏市・我孫子市が共催する10月26日(日)「手賀沼エコマラソン」はかつて何回か出走したことのあるなじみの大会ですので、そこでの普及啓発活動について相談してみたところ、早々に連絡いただき参加することとなりました。反応の速さに驚きつつ、感謝する次第です。管轄地域でのほかのイベントなどへの足掛かりとなることを目指したいと思います。

(千葉骨髓バンク推進連絡会 前田昌宏)

脱毛の悲劇



「30歳で白血病となり2度の移植を経験。現在は自分らしく生きることが目標にお絵かきクリエイターとして活動中。」

心からのご寄付に感謝申し上げます

当協議会への寄付金は税制上の優遇措置を受けられます。

●一般

ダイダゲン株式会社名古屋支店
現金 200,000円
株式会社チエノワ情報システムズ
現金 9,000円
株式会社カケル 現金 9,000円
福原 卓也 現金 3,000円
●佐藤きこ子造血細胞移植患者支援基金
日根 和美 現金 10,000円

日根 和美 現金 10,000円
●募金箱
株式会社 クスリのアオキ 現金 1,250,381円
株式会社 ナルックス 現金 35,695円
株式会社 フクヤ 現金 2,242円

●7月21日～8月20日(敬称略)

株式会社 マルト商事 現金 66,459円
●つながる募金 現金 3,200円
●キモチと。 現金 651円
●マンスリーサポート 現金 47,000円

活動資金の支援を お願いします

銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

郵便振替口座 00150-4-15754

口座名：特定非営利活動法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会

郵便振替口座の振込用紙を郵送いたします。当協議会までご請求ください。